

GIOVANNI BATTISTA VIOTTI

ヴィオッティ

—近代ヴァイオリン奏法の父—
The Father of Modern Violin Playing

菊池 修 著
KIKUCHI Osamu



- 本書目次 ——
- 第一章 フォンタネット・ポ
 - 第二章 トリノ
 - 第三章 パリ
 - 第四章 ロンドン
 - 第五章 シェーネフェルト
 - 第六章 ギルウエル・パーク
 - 第七章 再びロンドン、パリ
 - 第八章 ヴィオッティの音楽
 - 第九章 ヴィオッティの復活
 - 参考 ヴィオッティの音楽CD

ジョバンニ・バッティスタ・ヴィオッティ
Giovanni Battista Viotti (1755-1824)

18世紀最後の20年間にパリとロンドンで活躍した作曲家・ヴァイオリニスト。1755年にイタリア北西部のフォンタネット・ボ村で生まれる。1776年にトリノの王室礼拝堂楽団のヴァイオリン奏者となり、1782年にパリで自身のヴァイオリン協奏曲を演奏して大成功を収める。彼の新しい奏法は若きヴァイオリニストたちに強い刺激を与え、ヴァイオリン演奏のフランス派、ベルギー派に引き継がれていった。29曲のヴァイオリン協奏曲を作曲し、ヴァイオリン協奏曲の歴史の一時代を担った。ベートーヴェンやブラームスにも影響を与えた。

Virtuoso 古典派期の楽壇を風靡した名匠の遍歴

イタリア、ピエモンテ州の小村に生まれ、フランス革命前後にパリ、ロンドンで活躍した、古典派期を代表するヴァイオリン音楽家ジョヴァンニ・バッティスタ・ヴィオッティ(1755-1824)。ベートーヴェンら古典派の巨匠達に多大な影響を与え、ヴァイオリン奏法に画期的進展をもたらし、「近代ヴァイオリン奏法の父」と評される。その波乱に富んだ生涯と数々の業績を詳細かつ分かりやすく解説した、本邦初の本格的評伝！

著者: 菊池 修(きくち・おさむ)

1940年 埼玉県生まれ
1969年 東京教育大学大学院修了(理学博士)
現在 筑波大学名誉教授
筑波大学を退職後ヴィオッティの生涯に関する調査に着手。ヴィオッティの故郷フォンタネット・ボ村、ヴェルチェッリ市をたびたび訪問。現地の新聞LA STAMPA 紙のインタビューを受け、ヨーロッパ各地を廻ってヴィオッティを研究する日本人として紹介される。ヴィオッティの音楽の復活を願う音楽愛好家。
著書『分子軌道法—電子計算機による活用』(講談社)、『基礎量子化学』(朝倉書店)

ヴァイオリン奏者・音楽研究家・愛好家必携！

A5判・並製カバー装・総304頁(巻頭カラー付き)

2009年8月末刊 定価2625円(税込)

ISBN978-4-86330-031-6

発行:(株)慧文社 〒174-0063 東京都板橋区前野町4-49-3

TEL 03-5392-6069 FAX 03-5392-6078

http://www.keibunsha.jp/

小社の書籍は、全国の書店、ネット書店、大学生協などからお取り寄せ可能です。

8月の新刊

様	部数	(株)慧文社 世〇三―五三九二―一〇六九 世〇三―五三九二―一〇六九
		菊池 修 著 定価: 2,625円 (本体1,500円+税5%) ヴィオッティ—近代ヴァイオリン奏法の父 ISBN978-4-86330-031-6 C0073 ¥2500E

〒174-0063 東京都板橋区前野町4-49-3
 (株)慧文社
 電話03-5392-6069 FAX03-5392-6078